

# たんぽぽ



卒業する40回生

## 人類は生き残れるか

校長 塩川 哲男

日本の人口減少は止まらず、北海道の人口もついに500万人を切ったという。一方で、世界の人口は増加を続けていて、2025年時点で82億人を超えている。

人類は、700万年前にアフリカで誕生してから20種ほどいたが、絶滅を繰り返して、現在は、20万年前に誕生したわれわれ「ホモ・サピエンス」1種しかない。

ロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナでの戦闘、最近では米国によるベネズエラ攻撃など世界各地で紛争が続く。これほど同種同士が殺し合う動物はいない。種として絶滅を迎える前に核兵器や気候変動などで、人為的な最後を迎える日が来てもおかしくはない。

ちなみに「人を殺す動物」のランキングによると、1位は蚊(年間72万人)、2位は人間(同47万人)、3位ヘビ(同5万人)であった。これは2014年、ビル・ゲイツのブログによるものだが、10年余りたった現在はどうかだろうか。

2024年の世界の軍事費の合計は、390兆円という膨大な額で、世界人口で割ると一人年間5万円弱となる。日本は世界第10位の7兆2000億円で、一人あたり約6万円(赤ちゃんからお年寄りまで、一人月5000円、高市政権はこれをさらに増やそうとしている。このお金を世界平和と地球環境を守るために使えないものだろうかと思う。

4月から看護師となって新しい職場で働くみなさん、一人ひとりの命と人権を大切にすると同時に、時には世界あるいは人類の未来にも思いを馳せてみてほしい。

看護学科  
40回生  
(3年生)

# 卒業 おめでとう!!



クラス長 若狭  
副クラス長 大谷

40回生は、個性豊かなメンバーが集まったクラスです。それぞれが自分の目標をもちながら、日々学習や実習に向き合ってきました。忙しく大変な実習や課題も、互いに支え合いながら乗り越えることができました。今年度の体育祭では、クラス全員で力を合わせ、総合優勝することができたことも良い思い出です。

3年間色々なことがありましたが、どんな壁も乗り越えてきた私たちならこの先も頑張っていけると思います。春からは看護師として頑張っていきたいと思います。

## 3年次 学びの歩み

5月から始まった地域・在宅看護論実習Ⅱ期、老年看護学実習Ⅱ期、精神看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習を駆け抜け対象の看護について視点を広げ多くのことを学びました。10月には学生最後の実習となる看護管理実習や臨床判断実習、SDH探究実習などの統合実習も無事に終えることができました。

## 各看護学・論実習



さまざまなライフステージにある対象を捉え理解し、看護について学びました。



## 統合実習

統合実習のひとつである臨床判断実習では、看護師がどのように考え判断し実践しているのかを実践の場から学びました。



## 診療技術ゼミナール

「輸液療法」や「膀胱留置カテーテル」など4つの課題テーマで模擬事例をもとに安全安楽な技術に向けてグループで取り組みました。臨床で実践できるように技術の獲得を目指します。



## 総合ゼミナール

統合実習の中で健康の社会的決定要因(SDH)の視点で、対象の健康を捉え探求していく「SDH探究実習」をグループで取り組みました。事例を決め、一人ひとりの疑問から出発し社会背景や制度について学びを深め、3年間の集大成となる総合ゼミナールを行いました。ゼミナールでは、基本的人権を護ることが重要であると学び合えました。



40回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。2年生から担任として、皆さんが成長していく姿を見守ってきました。それぞれのペースで悩み、考え、仲間と関わりながら進んできましたね。臨床では、答えが一つでない場面に多く出会います。日々の中で積み重ねてきた経験は、看護師として臨床に立ったとき、人と向き合う場面で必ず生きてくるはず。それぞれが選んだ道で、自分らしい看護を大切にしながら、人との関わりの中で歩いていけると信じていますよ。皆さんの頑張りをこれからも応援しています。

担任 身崎

1-aグループ

SDHの視点で考える生活環境や社会資源の重要性  
～「地域で生きる」を支える精神疾患患者への移行支援～

1-bグループ

健康の社会的決定要因を踏まえた母子保健と継続的支援  
～社会的な背景をもつ妊産婦への支援についての学び～

2-aグループ

SDHの視点から考えた  
家族看護の重要性

2-bグループ

母性看護におけるSDHを捉えた  
切れ目のない支援の必要性

3-aグループ

SDHの視点から見る  
子どもの健康と家庭環境の影響

3-bグループ

社会的孤立と経済的困窮が  
健康に及ぼす影響

4-aグループ

精神疾患患者が自分らしく  
暮らしていくためには

4-bグループ

生活と健康を支える生活保護制度  
～SDHからみた実態と課題～

5-aグループ

SDHの視点から考える  
子育て支援や病児保育の課題

5-bグループ

精神疾患患者が地域で暮らしていくためには  
～SDHの視点で捉えた課題と看護の役割～

## 看護師国家試験応援メッセージ

実習や講義でお世話になった臨床の方々よりたくさんの応援メッセージが届きました!!



● 勤医協中央病院 ●



● 勤医協札幌病院 ●



● 勤医協札幌西区病院 ●



● 勤医協苫小牧病院 ●

国試に向けて  
頑張って  
みんなで勉強!!



看護学科  
41回生  
(2年生)

# 全力で取り組み、 看護の視点を広げ学び続けます!!

3泊4日  
沖縄研修旅行  
10月20日～10月23日



## 首里城公園

平和ガイドさんの案内で首里城公園の見学をしました。米軍から攻撃を受け首里城が破壊されていた歴史などを学びました。



2019年10月に火災により焼失した首里城の様子も見学できました!



## 嘉数の丘



嘉数の丘からは学校や住宅に基地が隣接しているのが見え、基地問題がいかに身近な事なのか実感しました。

## 辺野古テント村・瀬嵩の浜

辺野古テント村で反対運動を行っている方からお話を聞きました。美しい海を守りたいと強く願います。



## ひめゆり平和祈念資料館



元ひめゆり学徒隊の方の戦争体験の動画や平和についての講話、資料館の見学をとおし、戦争の恐ろしさや平和について深く考え学ぶ機会となりました。



昼食は全員で沖縄料理を堪能しました。

## 飯上げの道



ひめゆり学徒隊が戦時中利用した山道「飯上げの道」を実際に歩きました。



## 沖縄陸軍病院南風原壕群20号

実際に壕内に入り見学しました。壕内は暗く湿度が高く、当時の事を思い、胸が痛みました。



## 会食・会澤芽美さんライブ

旅行最後の日には、会澤芽美さんのライブ♪夕食会では、沖縄民謡に合わせてみんなで踊りました。



## 老年看護学実習Ⅰ期

12月に老年看護学実習Ⅰ期を実施しています。老年期の特徴や生活史を捉えながら対象に合わせた援助や療養指導を行うことができました。成人看護学実習Ⅱ期を経て、一歩ずつ成長しています。

## 食事介助



術後の患者さんへ食事指導を実施しました。



## 地域・在宅看護各論Ⅱ 演習

### 演習風景



### 浣腸

2年生になりより専門的な演習が増えました。



夏休み明けから、成人看護学実習Ⅱ期および老年看護学実習Ⅰ期に臨みました。成人看護学実習Ⅱ期では、初めての看護過程の展開を実践しました。

看護問題の抽出や個別性のある看護計画の立案に難しさを感じながらも、成人看護学実習Ⅰ期での学びを活かし、生活や労働の視点から健康を捉え、必要な看護について考えることができました。

老年看護学実習Ⅰ期では、高齢者の特徴や複合した病態に戸惑いながらも、対象者やその家族にとって必要な看護は何か、を考え実践に活かすことができました。

10月には、待ちに待った沖縄研修旅行がありました。戦争の悲惨さや戦後も続く基地問題、環境や健康への影響などについて、事前学習だけでなく実際に現地を訪れることで、平和と医療について深く考え、学びを深めることができました。生憎の天候ではありましたが、学習面だけでなくフリータイムも含め、充実した時間を過ごすことができたのではないかと思います。

冬休み前には国家試験オリエンテーションを行い、国家試験に向けた学習もスタートしています。春からは最終学年になります。看護師に向けて頑張りましょう。

担任 田村

## 看護学科 42回生 (1年生)

# 看護の基礎を仲間とともに 元気いっぱい学んでいます!!

### 生命活動演習

循環・呼吸・消化吸収など9つの課題テーマに分かれて、人間の生命をつかさどる仕組みと働きや身体の恒常性を約1か月かけて学習しました。グループワークでは一人ひとりが疑問を出し合い、理解するまで学びを深めていきました。最後はゼミナールで発表しクラスで交流できました。



各グループ、工夫を凝らして発表しました。

肺の模型



肺の面積を広げると…?



力作のレポート



### 日常生活援助技術ゼミナール

安全・安楽な日常生活援助技術の実施ができるよう、リネン交換、洗髪、排泄援助、など5つの課題テーマに分かれてグループで検討し、練習を進めました。ゼミナールでは、一人ひとりが練習の成果を発表しました。みんなで活発に意見交流し学び合うことができました。



シワなく清潔なリネン交換

しっかり泡立てて汚れを落とします。



安全な移乗・移動もたくさん検診しました。

患者さんへの説明も丁寧に行います。



しっかり洗って気持ちの良い手浴を目指します。

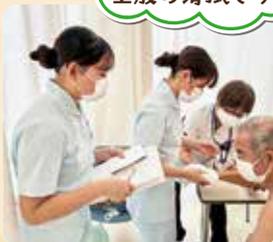
### 基礎看護学実習Ⅲ期

1月下旬から2週間の基礎看護学実習Ⅲ期では、看護援助技術の実践や患者さんの医療・看護への願いを知り、たくさんのことを学びました。



患者さんからたくさんお話を聞きます。

手術後の  
上肢の清拭です。



実習頑張りました!  
病棟からお菓子と手書きのメッセージをいただきました◎



### ～みんなで力を合わせ、奮闘しています!～

夏休み以降、専門科目や看護技術演習など学びを深めてきました。9月の基礎看護学実習Ⅱ期では初めて患者さんを受け持ち、講義で学んだ知識や技術を実践しました。患者さんとの関わりのなかでたくさんことを学び、看護について考える機会となりました。生命活動演習や日常生活援助技術ゼミナールでは、グループで学習に取り組み、互いに教え合ひ、意見交流を通じてクラス全体で学びあうことができましたね。冬休み明けの基礎看護学実習Ⅲ期では、疾患理解を深め、患者さんの医療や看護への願いに触れ、看護の学びがより深まりました。辛いときは、仲間と語り、支え合って乗り越えてほしいです。これからの成長が楽しみです。応援しています。

担任 佐藤



# 学校行事・自治会行事



## ● ナーシングセレモニー・キャンドルサービス



クラスの誓いの言葉



11月21日

1年生(42回生)のナーシングセレモニーがおこなわれました。一人ひとり、キャリアビジョンとして看護の道に進む決意と抱負を発表しました。セレモニーの後、自治会主催のキャンドルサービスでお祝いしました。厳かな雰囲気の中、それぞれのキャンドルに灯がともされました。

厳かな雰囲気  
でキャンドルサービス



キャリアビジョンを堂々と



## ● 学習交流集会・勤看祭



11月25日

午前は学習交流集会、午後には勤看祭が行われました。学習交流集会は、3学年の縦割り・6分散会で、1年生はグループで取り組んだ生命活動演習、2年生は看護過程の展開に挑戦した成人看護学実習Ⅱ期、3年生は各看護学・看護論実習の学びを発表しました。座長を担当した3年生の運営で、学年を超え活発な意見や感想を交流し合うことができました。

午後は、場所を変えて近くの伏古地区センターで勤看祭。ピンゴやピニャータで盛り上がりました。有志による熱いステージも繰り広げられ、楽しい時間を過ごすことができました。

学習交流集会



勤看祭



ピニャータ!  
それ!もう少し!  
頑張れ!



ステージ発表



手話サークルによる  
O×クイズ



## ● 勤看 カレーの日



東健康友の会のみなさん、ありがとうございました



9月24日・11月14日

「カレーの日」と題して、東健康友の会のみなさんの心のこもったカレーがふるまわれました。午前中から、校内の調理室でいくつものお鍋にいっぱいのカレーを準備していただきました。友の会のみなさんとふれあい、おいしいカレーを食べて力をもらいました。ごちそうさまでした!!



おいしそう!



いただきまーす! ♪

## ご卒業おめでとうございます

40回生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

学生生活で様々な経験を先生や仲間と共に乗り越え、多くの成長や学びを得たことは、今後長く続く看護師人生において貴重な財産になると思います。ぜひ、ご自身の頑張ってきた3年間に誇りを持って、看護師への一歩を踏み出してくださいね。応援しています。



勤医協札幌西区病院 3病棟  
看護主任 山口 ななみ



40回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

実習を通して、患者さんを取り巻く環境の中で悩みながらも、丁寧に関わりと着実に成長していく姿を見せてもらいました。

今まで学んだ経験に誇りと自信をもって、看護師として新たな一歩を踏み出してください。皆さんのこれから始まる毎日を応援しています。

勤医協中央病院 3西病棟  
看護主任 澤田 映美・石黒 彩香

40回生の皆さんご卒業おめでとうございます。

3年間で看護を学んできた皆さんにはそれぞれ忘れられない患者さんや心に残る言葉があるのではないのでしょうか。心に残るという事は、大切にしたい看護があるという事。看護師として働く中で、患者さんが自分や仲間を成長させてくれます。これからの活躍を応援しています。

勤医協札幌病院 3病棟  
看護主任 多屋 佳葉



学校通信「たんぼぼ」は1981年の発行にあたって、勤看での学びをそれぞれの地で花さかせようという願いをこめて名づけられました。



Instagram



@KINKAN\_SAPPORO

HPのQRコード



〈編集委員〉  
田村章江 伊達深晴 佐藤幸子

何も変わりませんから。黙っていても (田沢)

「たたかう・要求する」ということにとどのようなイメージを持ちますか。現在の境遇に不満があったときにとる行動として「回避する・我慢する」ことの反対ですね。面倒くさいし、言っても無駄という気持ちにもなりがちですが、好きなこと、大事なことを守りたいと思ったら、思い切って要求してみましよう。

今年から看護学校への補助金が一年ぶりに増額されます。医療機関の収入は国が決める診療報酬によって決められています。三〇年ぶりにプラス改定されました。変化したのは、物価高騰が続く中で日本中の看護学校や医療機関が一緒になって、「このままでは潰れちゃう！」と声をあげてきたからです。補助金や診療報酬の原資は国民が支払う税金です。だから税金を教育や医療にもっと使うように政府に向かって要求してきました。私たちが納めている税金(学生だって消費税を払っています!)は暮らしを守るために使うのは当たり前です!今年もしつこく求めていきます。黙っていても

編集後記